

Epson Nakajima Racing エプソン バトル・ダッシュ ペーパークラフト 組み立て説明 1

用意するもの

- はさみ ● カッターナイフ ● 定規 ● セロテープ
- のり(合成ゴム系接着剤や、木工用接着剤)
- 折リスジを付けるための道具(鉄筆や、インクの切れたボールペン)
- 輪ゴム(直径約4cm「No16」のものを使います)

あと便利なもの

- 丸みを付けるための円柱棒(編み棒や鉛筆)
- 紙の切り口着色用塗料(アクリル絵の具や、サインペンなど)
- つまようじ ● 圧着用にわりばしやバターナイフ ● 工作用マットなど

作り方

1. パーツを切り取り線に沿って切り離します。

※パーツのカット面(紙の断面)は組み立て前に同色の絵の具やサインペンで、あらかじめ着色しておくとう仕上がりが美しくなります。

2. -----山折り、-----谷折りの線に沿って折り目をつけます。
鉄筆やインクの切れたボールペンなど、先のとがったものでスジをつけておくときれいに折れます。印刷面にキズを付けたくないときは紙の裏からスジを付けます。
※折るところはしっかり折るのがポイントです。

3. アール(丸み)をつける場所は、丸めたい部分の上に定規をあて、紙の端を持ち上げながら、定規をずらしてカールさせる方法と、円柱状のものを芯にして、巻きつけながらしごく方法などがあります。図の ≡≡≡ がアールをつける場所です。

4. 接着する前に、組み立て図や完成写真をよく見て、どんな形になるのか仮組みを試してみます。

5. 接着剤は紙のへら(紙の余白を利用してへらを作る)やつまようじなどを使っとうすくぬるとききれいに仕上がります。

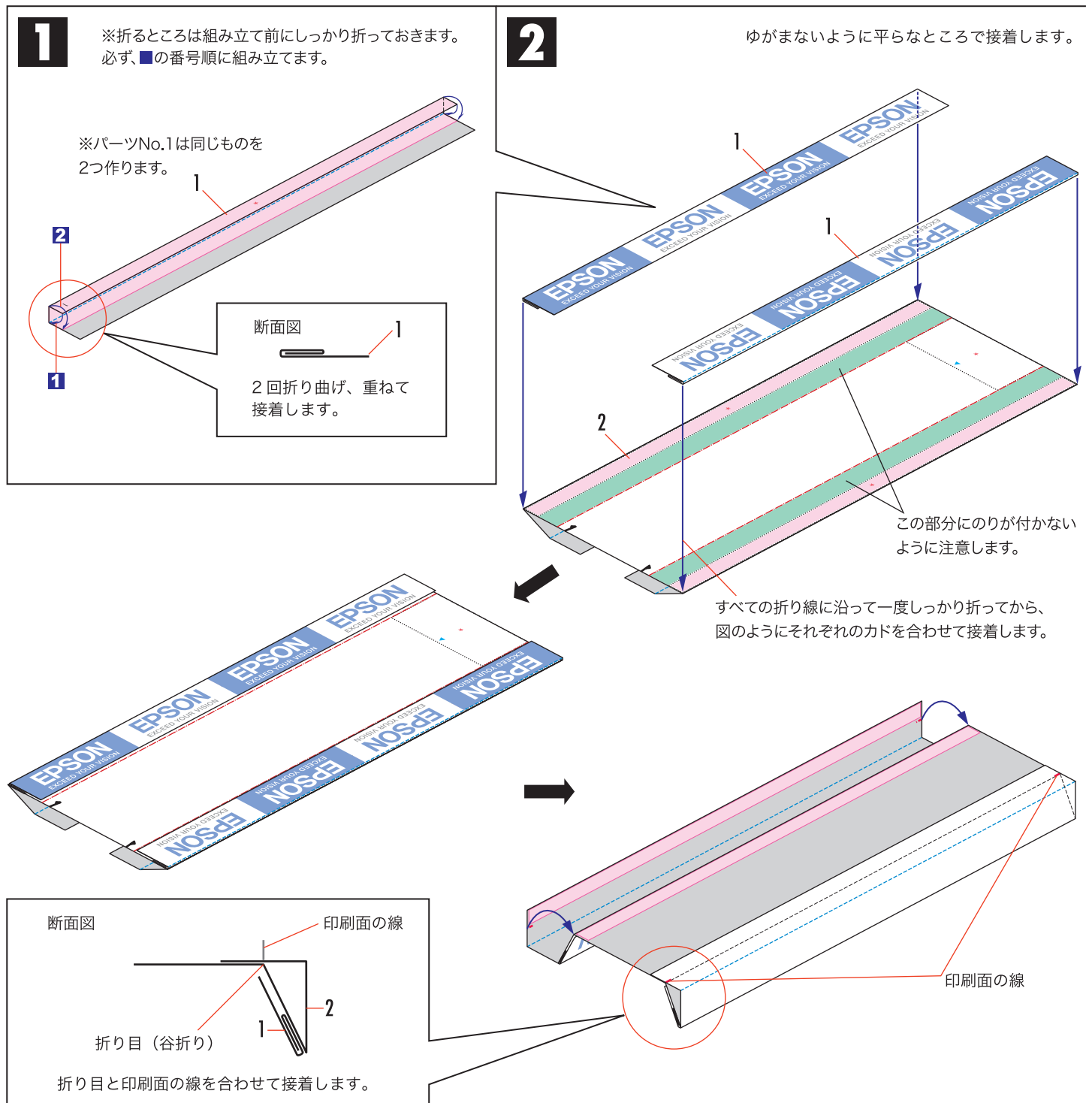
完成写真や組み立て図をよく見て、必ず、■の番号順に接着してください。

※基本的にパーツ番号の1から順に2、3、4・・・と組み立てていくのが約束です。

図中の □ は紙の裏側、 □ はのりづけするところを表しています。

※カッターナイフを使用する際は指など切らないよう充分ご注意ください。

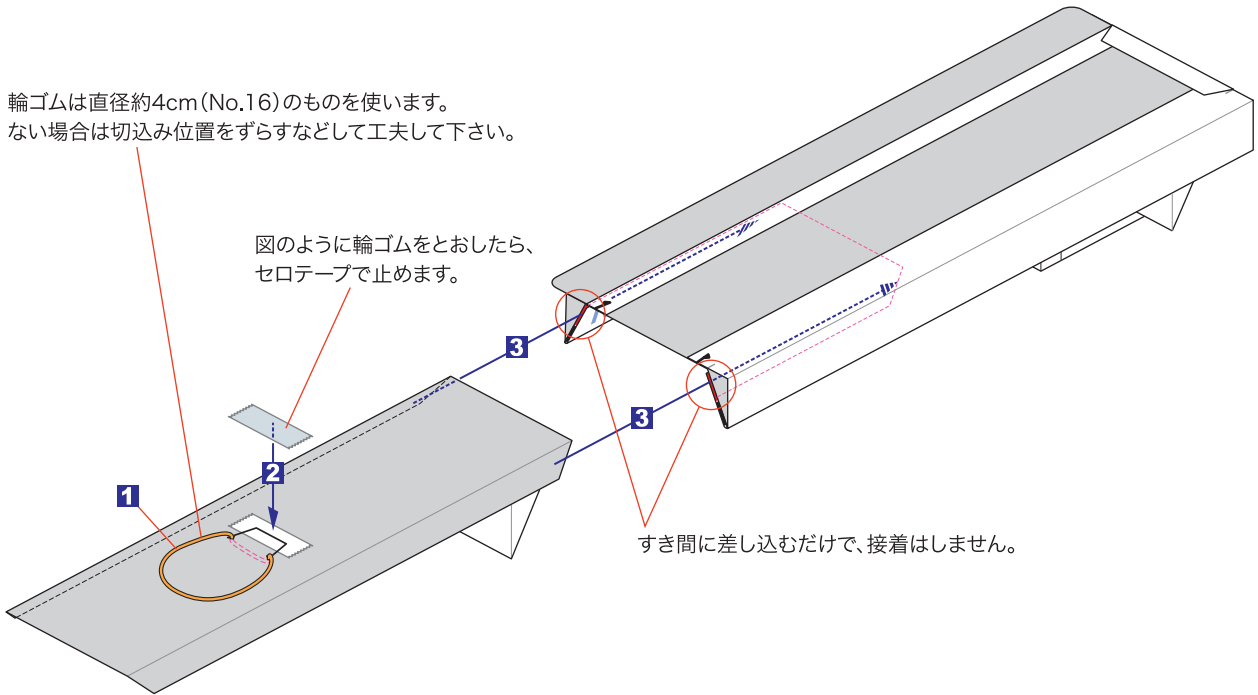
※ペーパークラフトをより美しく仕上げるためのコツや作り方はホームページ内の「ペーパークラフト入門」や「エプソンバトル・ダッシュ夏休み自由工作」を参考にしてください。



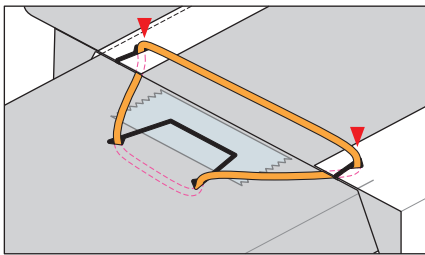
6

輪ゴムは直径約4cm (No.16) のものを使います。
ない場合は切込み位置をずらすなどして工夫して下さい。

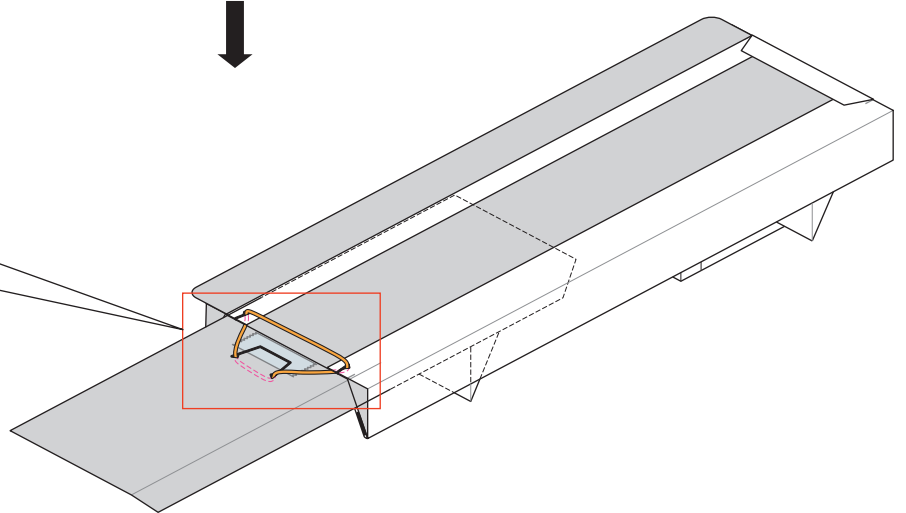
図のように輪ゴムをとしたら、
セロテープで止めます。



すき間に差し込むだけで、接着はしません。

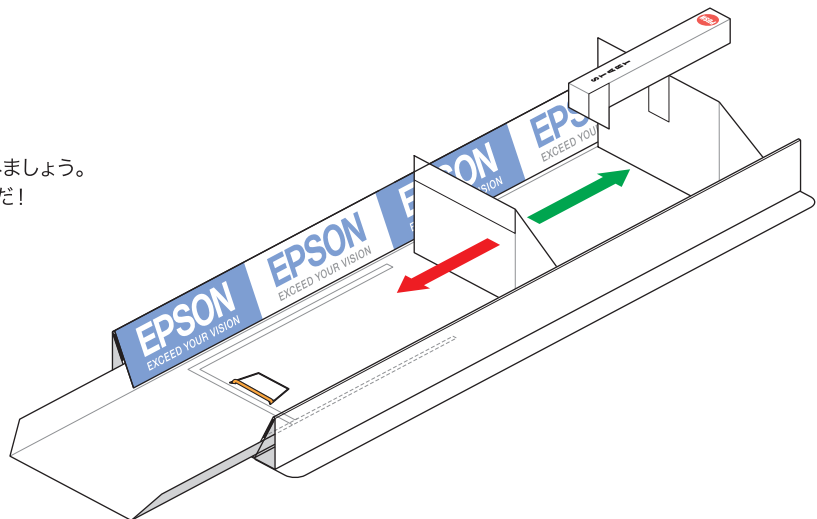


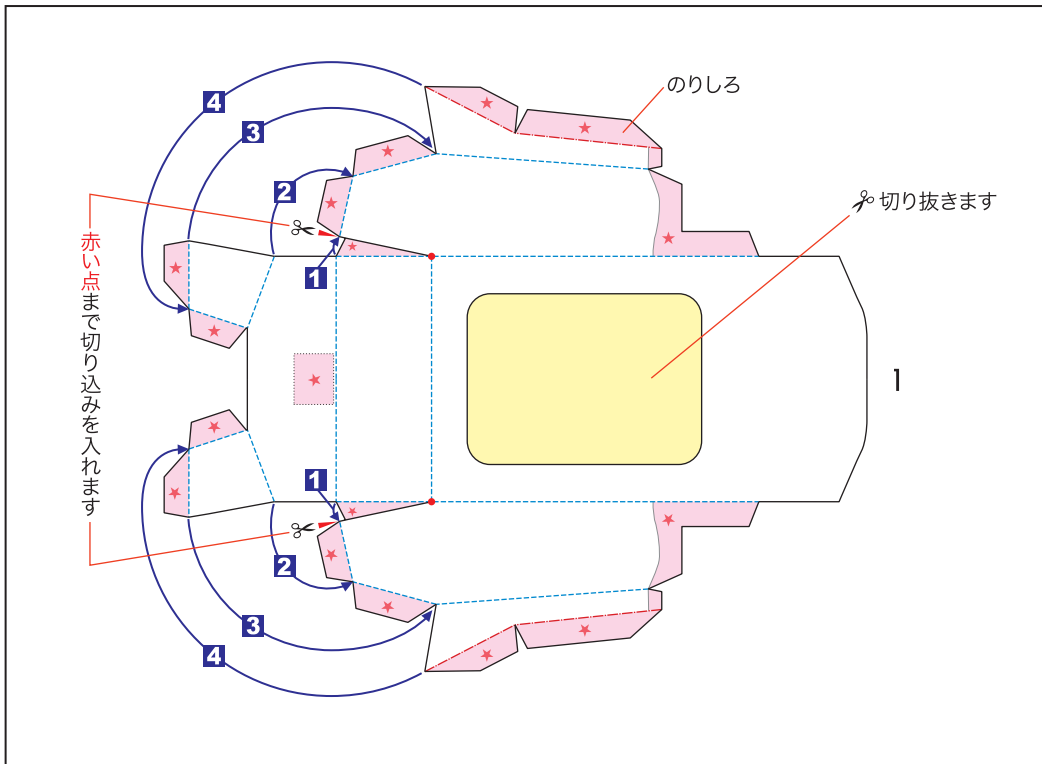
図のように輪ゴムを下の台に差し込んだら、
スタート台の完成です。



●スタート台完成!

ゴムの反力がきいているかためてみましょう。
さあ、次はマシンを作ってバトル開始だ!

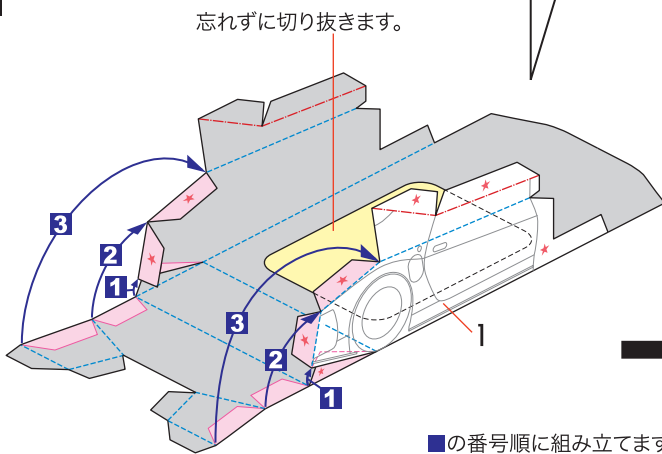




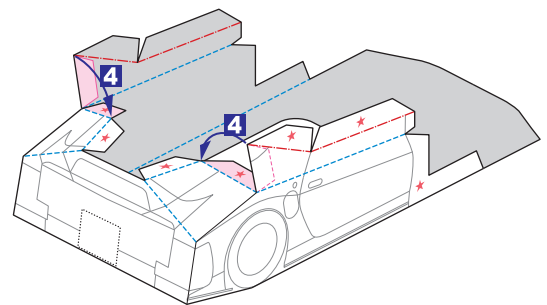
ここからはマシンの組み立て。
EPSON-HSVと白地の2台を
用意しました。
白地のマシンは好きなカラー
リングにして楽しみましょう。

白バージョンのパーツ
No.7 はボディ左右のゼツ
ケンです、好きな番号を
書いて貼りましょう。

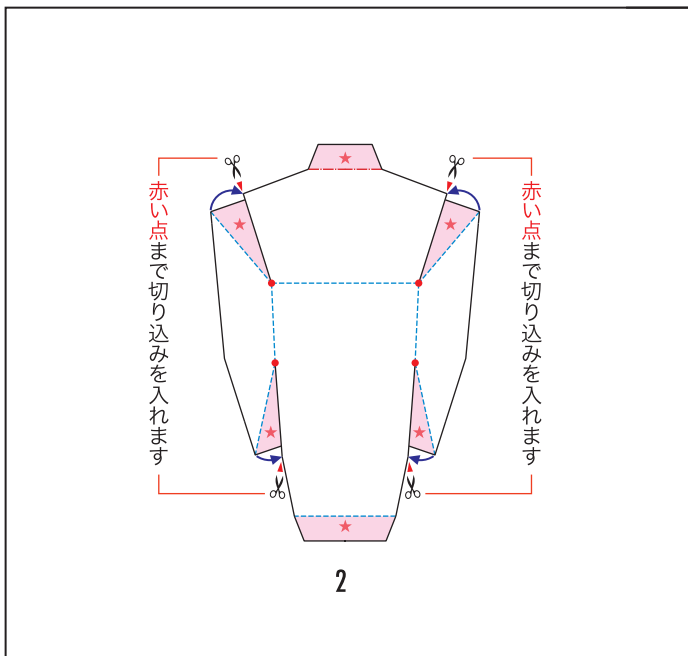
7



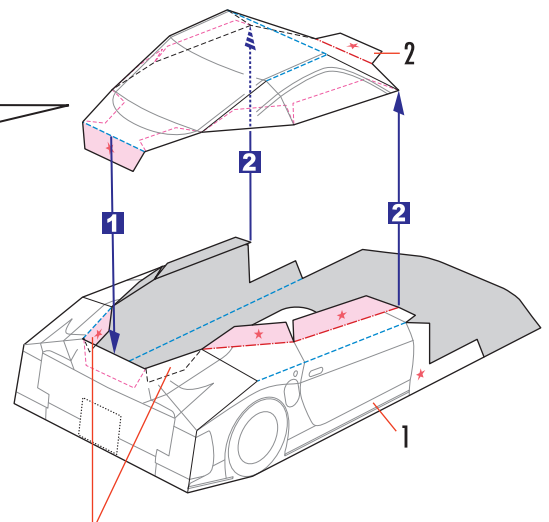
※折るところは組み立て前にしっかり折っておきます。
特に三角ののりしろはつめでしっかり押さえつけておきましょう。



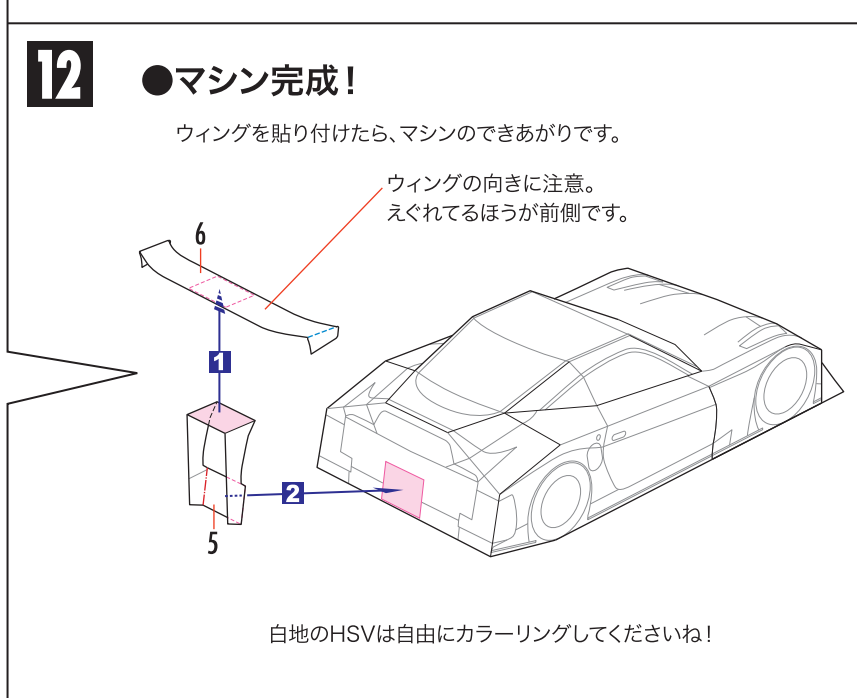
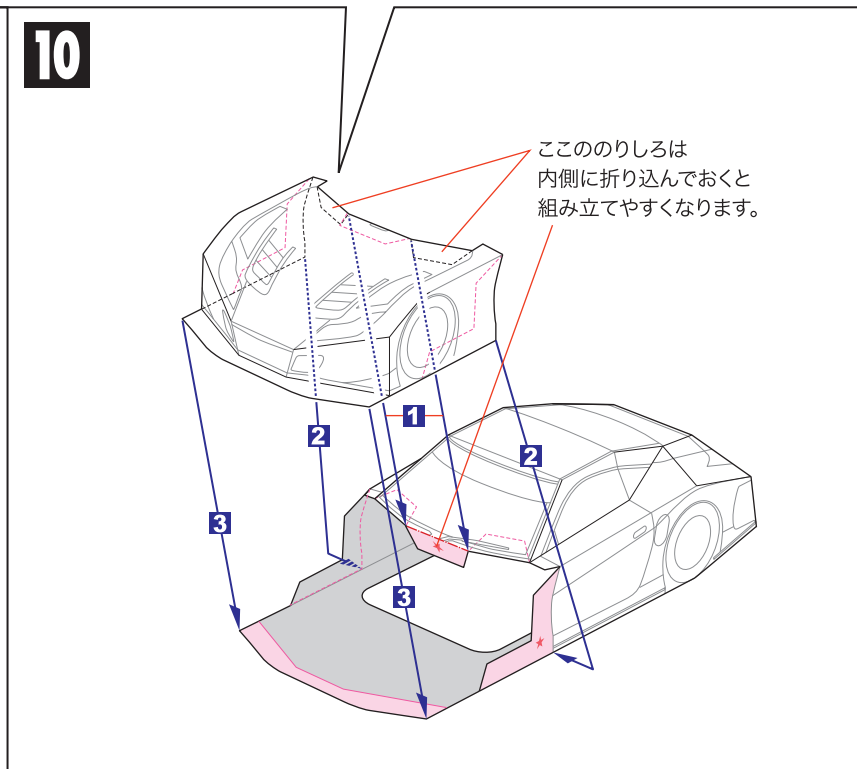
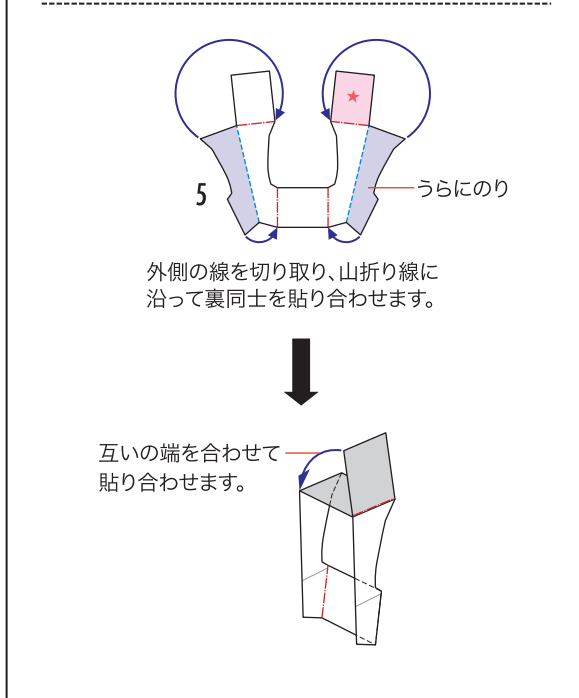
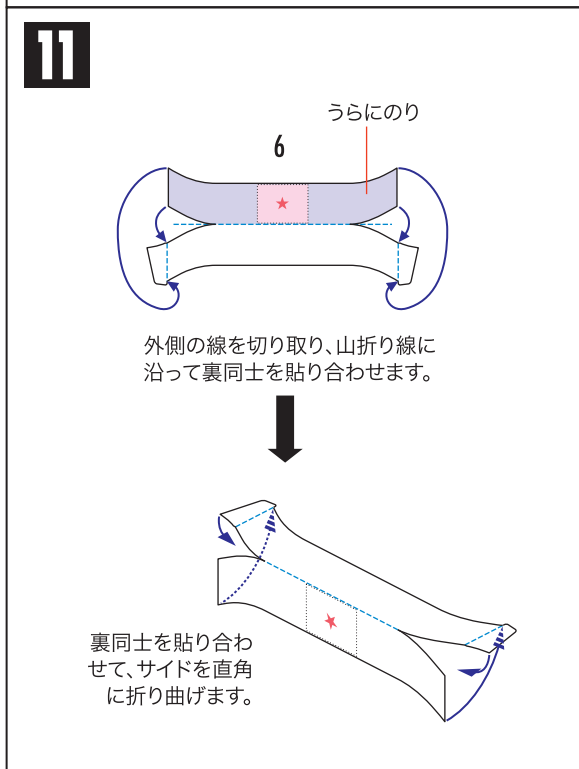
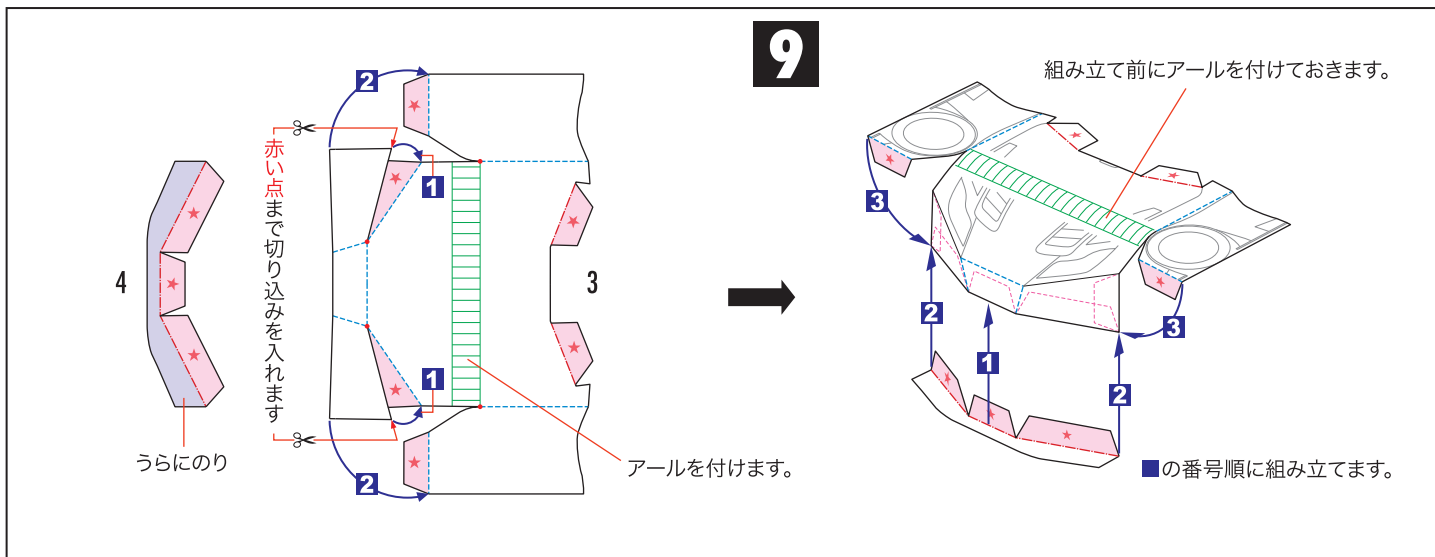
■の番号順に組み立てます。
各のりしろは内側に折り込んでおくと組み立てやすくなります。



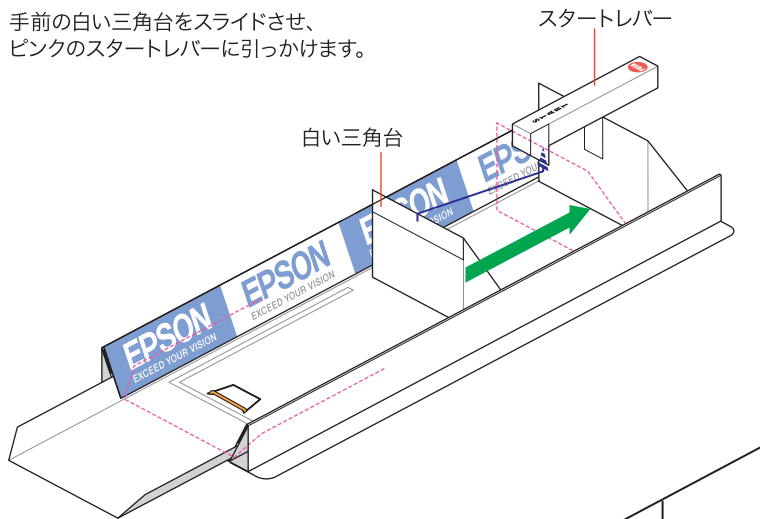
8



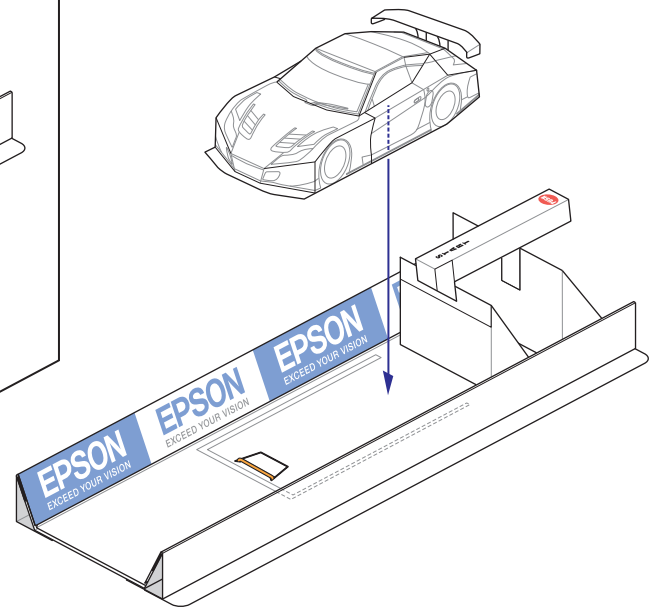
こここのりしろは内側に折り込んでおくと組み立てやすくなります。



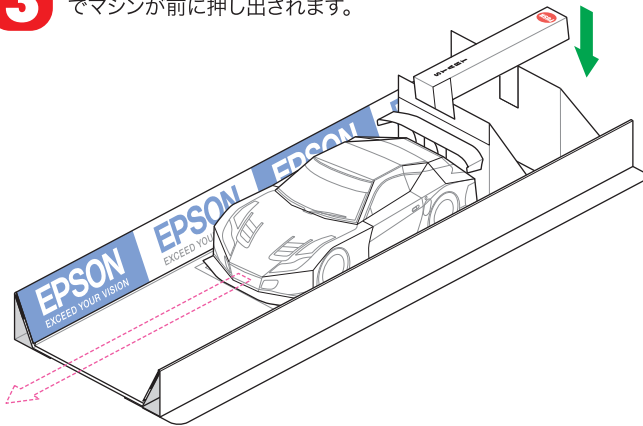
- 1** 手前の白い三角台をスライドさせ、ピンクのスタートレバーに引っかけます。



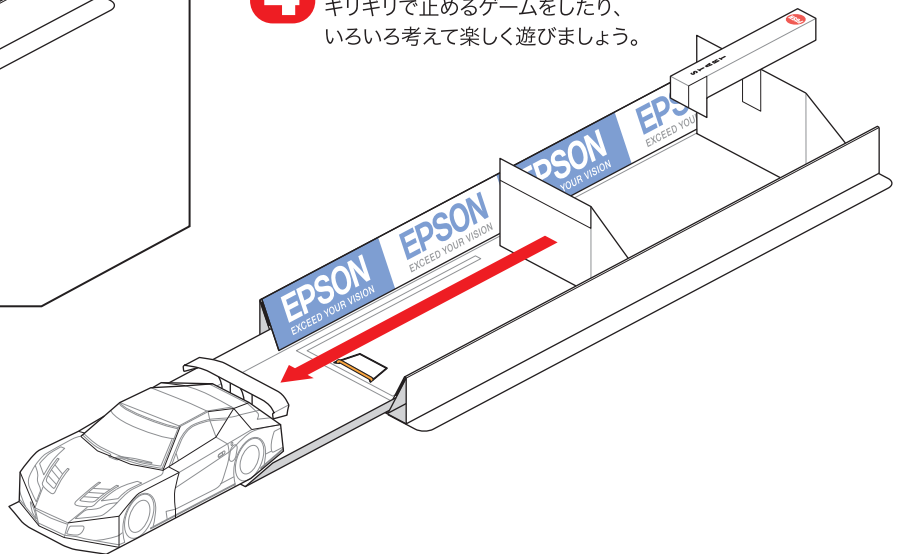
- 2** マシンを白い三角台に接するようにセットします。



- 3** スタートレバーを下に降ろすと、ゴムの反力でマシンが前に押し出されます。



- 4** 距離を競い合ったり、決まった距離ギリギリで止めるゲームをしたり、いろいろ考えて楽しく遊びましょう。



遊ぶときの注意

ケガをすることがないように以下のことに気をつけましょう。

- 人に向けて発射するのは大変危険です。
絶対にやめましょう。
- 発射前のクルマの前に顔や手を近づけないでください。
- バトル・ダッシュは広い場所で使用してください。

ペーパークラフトデザイン / 篠崎 均

●もう1セット作ってバトルを楽しむ!

ホームページにも書いてあるように、バトルするときはコースを並べてセットし、距離やスピードなどを競い合って遊びます。

※マシンは1:43スケールで設計しています。市販の同スケールのミニカーなどを走らせるのもおもしろいですね。
いろいろな遊び方を考えて、楽しみましょう。

